

デボーション質問 民数記 20 - 24 章

民数記 20 : 1 - 13 4月23日 (月)

1. イスラエルの民はなぜ、モーセとアロンに逆らったのですか？→状況に左右される反動的な生き方をしていないだろうか？
2. モーセに対する神さまの命令は何ですか？それに対してモーセはどのように応答しましたか？
→わたしは、神さまの導きや命令に、自分の考えや感情にまかせて従っていないだろうか？
3. 神さまの言うとおりにしなかったモーセとつぶやいた反動的な民に神さまはどうされましたか？(11節)
→哀れみ深い神さまを私は畏れているだろうか？

民数記 20 : 14 - 29 4月24日 (火)

1. モーセの交渉はどのようなものでしたか？(申命記 2 : 4 ~ 7 参照) →私はモーセのように寛容な心を持っているだろうか？神様の声を求めて交渉しているだろうか？
2. アロンの死から、死についてどのようなことを学べるだろうか？
(ア)アロンの死後、どのようになると語っていますか？(26)
(イ)アロンの生涯はどのようなものだっただろうか？

27 ~ 29 節が彼の生涯を物語っています。→敬虔に神さまの導きに忠実であろうか？後継者を育てているだろうか？地位に執着していないだろうか？

民数記 21 : 1 - 9 4月25日 (水)

1. 4 ~ 9 節について、民が神さまに求めていたこと(7)と神さまの方法(8)の違いはどのようなものでしたか？ →神さまの計画は誘惑や苦しみを取り除くのではなく、彼の約束を信じて仰ぐ者が救われます。わたしは、現実の困難に目をむけているだろうか？神さまのすばらしい約束に目を向け満たされているだろうか？「そんなことで直るなら医者はいらない！」という態度はいのちを落とす。
2. ヨハネ 3 : 14 ~ 21 と読み比べ、キリストの十字架の意味を黙想してみましょう。

民数記 21 : 10 - 35 4月26日 (木)

1. 14 節の唄は、川が天然の要塞となり町を守っていることを歌っています。また、17 節は棒を一突きで水が流れ出たことを賛美しています。神さまが与えられた恵みを数えて賛美しませんか？
2. 21 ~ 24 節に二つの国が出てきます。一つはイスラエルに滅ぼされ、もう一方は神さまによって守られました。オバデヤ 12 節に「他人の不幸を喜ぶな」と警告しています。神さまは国々を管理し指導しています。国のためにとりなし敬虔に生きましょう (I テモテ 2 : 1, 2)

民数記 22 : 1 - 41 4月27日 (金)

22章から24章はバラク王と占い師バラムを中心に、敵国側からイスラエルの民をみる、違う舞台に移ります。神さまが、御心のままに人を用いてご自分の民を導くことを見ることができます。

1. バラク王は占い師バラムに頼んで、イスラエルの民を呪おうとします。(6) イスラエル民は守られましたか？(12、20)
2. 人々が地位や権力、金銭、また霊的な力を使って私たちが呪おうとしても、もし、神さまが私たちに祝福してくださっているなら、神様がすべてを取り扱ってくださることを確信しているだろうか？

民数記 23 : 1 - 30 4月28日 (土)

1. バラク王は、神さまの前に適う場所を探し、自分の思う通りに神さまが動いてくれるようにがんばります。それは効果がありましたか？(11節)
2. 18～24節の神さまのことばから、神さまの主権がどれほど偉大であるか吟味してみましょう。

民数記 24 : 1 - 25 4月29日 (日)

1. バラムは、神さまに対してどのような態度をとりましたか？(1、2) 神さまに降伏するときどのようなことが起こりますか？(2)
2. 神さまの祝福の前に、敵国の王はどのようなことになっていますか？(10、11)